

横田基地における演習等の実施について

- 実施内容及び日程等：
 - ・ 内容：サムライ即応監査（SRI: Samurai Readiness Inspection）
横田基地が生物化学兵器、放射能兵器等による攻撃を受けたことを想定し、これに対する即応態勢に係る演習及び監査を行うもの。
 - ・ 日程：平成29年2月7日（火）から2月10日（金）までの4日間の予定（24時間体制）
- 実施に伴う航空機の運用：
 - ・ 通常の運用時間帯（0600-2200）において、航空機を運用する予定がある。
- P A S、G B S及び煙幕等の使用：
 - ・ 日中において、P A S及びG B Sを使用する予定がある。
 - ・ P A Sの使用に当たっては、基地周辺への影響を考慮の上、基地中心部において使用箇所を限定して実施することとする。
 - ・ 煙幕の使用予定はない。
- 特記事項：
 - ・ 上記期間中、数分間程度、基地の全ゲートを閉鎖する予定がある。
 - ・ 北関東防衛局から米軍に対し、演習の実施に当たっては、日米合同委員会合意の遵守に努め、周辺住民に与える影響を最小限にとどめるよう口頭で申し入れた。
 - ・ 演習終了の通報を行う予定。
 - ・ 演習等の予定については、諸事情により変更される場合がある。

（参考）

- ・ S R I (Samurai Readiness Inspection)：サムライ即応監査
O R E※を実施し、監査するもの。
※O R E (Operational Readiness Exercise)：運用即応演習
仮想戦闘環境における基地の機能テスト。テロ攻撃や航空機又は地上戦闘力等による基地への攻撃を想定し、実践的な即応体制をとることを訓練するもの。
- ・ P A S (Public Address System)：パブリック・アドレス・システム
以前は、ジャイアントボイスと呼んでいたもので、大音響の出る特殊なスピーカを使用し、サイレンや広報を行なう。
- ・ G B S (Ground Burst Simulator)：グラウンド・バースト・シミュレーター
地上爆発模擬装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。